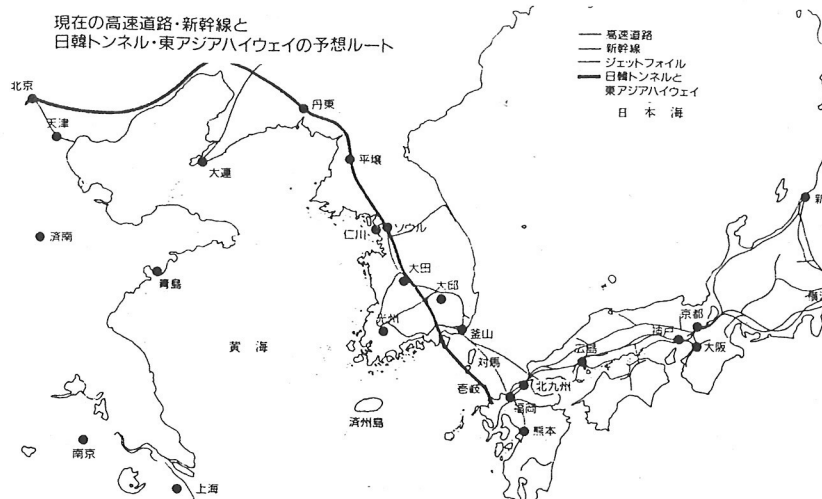




国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会(東京都渋谷区宇田川町37-13、佐々保雄会長、☎03-3481-6977)は、設立10周年を記念して6月17日、東京・麹町会館で日韓中・国際シンポジウム「東アジアの開発と国際ハイウェイ・日韓トンネルの役割」が盛大に開催した。

第一部では日・韓・中各国パネラーによる発表が行われたが、そのうち日本側は吉田信夫氏(福岡大学工学部教授)が「プロジェクト

の波及効果の評価と課題」について発表した。三菱総合研究所による整備新幹線、リニア中央新幹線の生産誘発効果分析を参照して説明。日韓トンネルを建設するのに6兆円、日韓トンネルを運用する経済効果を含めると16兆〜21兆円の多大な効果が見込まれる——とした。さらに、近年九州と韓国との交流のウエ

イトが高まっていると指摘。日韓トンネルができることで、人的・物的交流がさらに活発化すると強調した。なお、国際ハイウェイ・プロジェクトとはユーラシア大陸の東西を高速交通システムで結び、さらにアフリカ大陸や南北アメリカ大陸にまで延長、世界中を1つの交通体系で網羅しようという構想。その第1次案

として、東京〜ソウル〜北京を結ぶ東アジアハイウェイが提案されている。日韓トンネルは、国際ハイウェイプロジェクトの中でも最も難工事が予想される部分。九州北部から岩崎対馬を経て韓国の釜山へ至る235kmのルートは海底トンネルや橋梁で結ぶ計画である。総延長が青函トンネルやユーロトンネルの

ハイウェイ、新幹線も

工費6兆円、効果20兆円

日・韓間にトンネル構想

4倍に及ぶプロジェクトで、大陸への重要なプロジェクトになることが期待されている。

現在、福岡から釜山までの航路はフェリーで約16時間、ジェットフォイル(高速水中翼船)で約3時間かかる。日韓トンネルが完成すると、自動車で約3時間半、次世代新幹線(時速350km)ならば1時間20分、リニアモーターカー(時速700km)ならば40分程度に短縮される。さらに将来、日韓トンネルが東アジアハイウェイに連結され北京まで延びると、福岡〜北京間は新幹線で約6時間半、リニアモーターカーで約3時間半まで短縮される。